

予算常任委員会産業生活分科会

(平成25年2月13日)

山本里香委員長

それでは、予算常任委員会産業生活分科会の審査を始めたいと思います。

付託議案は議案第27号平成24年度四日市市競輪事業特別会計補正予算（第2号）についてです。説明を求めます。

議案第27号 平成24年度四日市市競輪事業特別会計補正予算（第2号）

石田けいりん事業課長

競輪事業特別会計補正予算の第2号について、ご説明を申し上げます。

補正予算書につきましては5ページからでございますが、予算常任委員会産業生活分科会資料の資料により、ご説明させていただきます。1ページでございます。平成25年1月31日から2月3日までの期間に開催いたしました記念競輪の車券売上金が見込み額より10億7956万6000円上回ったこと、それと、普通競輪の車券売上金についても、年間売り上げ見込み額より上回る見込みのため、車券売上金を14億3922万4000円増額する歳入予算の補正をお願いするとともに、それに伴う車券払戻金等の関係経費等の歳出予算の補正を行うものでございます。内容につきましては3ページ以降で詳しく説明をさせていただきますので、よろしく願いいたします。

3ページでございます。2ページの補正予算に対する歳入の内訳でございます。事業収入といたしまして車券売上金、記念競輪及び普通競輪の車券売上金の増額といたしまして、14億3922万4000円、車券の返還金が10万7000円でございます。車券売上金の明細といたしまして、一番下の表の競輪別の明細でございます。記念競輪におきまして10億7956万6000円の売上げ増と普通競輪で1月5日開催の売上げがナイター競輪始まって以来の最高額の売上げで9億5896万9000円と1億7900万円余の増となりまして、今後の、見込み額も含めて3億5965万8000円の増額となっております。

4ページでございます。4ページは歳出の内訳でございます。売上げに連動する支出といたしまして、開催費の全国競輪施行者協議会委託関係費が518万7000円、臨時場外開設関係経費が1億1471万9000円、競輪実施事務委託関係経費が531万3000円、全国競輪施行者協議会負担金が1188万1000円、財団法人J K A 交付金が3161万円、車券払戻金が10億

7941万8000円の増額となっております、予備費として1億9105万7000円の増額でございます、歳出予算の補正額の合計が14億3933万1000円の増額をお願いするものでございます。以上の結果を踏まえまして、5ページの表の真ん中より下の事業収支におきましては、3億9963万5000円の黒字を見込んでおります。説明につきましては以上でございます。よろしくお願いたします。

山本里香委員長

説明はお聞き及びのとおりです。ご質疑がございましたらお願いたします。

(なし)

山本里香委員長

質疑はなしということで、これより討論に移りますが、討論がありましたらご発言願います。

(なし)

山本里香委員長

討論がないようですので、これより採決に移りますが、反対表明もありませんので、簡易表決ということで進めさせていただきます。

それでは、議案第27号平成24年度四日市市競輪事業特別会計補正予算(第2号)につきまして原案のとおり可決すべきことにご異議ございませんか。

(異議なし)

山本里香委員長

異議なしと認め、本件は可決すべきものと決しました。

[以上の経過により、議案第27号平成24年度四日市市競輪事業特別会計補正予算(第2号)について、採決の結果、別段異議なく可決すべきものと決する。]

山本里香委員長

それでは、よろしいですか。

小林博次委員

それでよろしいんですが、景気回復の動きの中で全国的にも同じ現象が起きていると思っているんやけど。だから、あなた方の努力を超えるところで状況が改善されてきているというふうに思っているんやけど。問題は本場開催がやっぱり赤字なんやわね。それで、名古屋市の競輪場は場外で車券を買えばポイントをくれる。だから、四日市競輪でもポイント制の導入を検討してみてもどうなのかなと。それで来場者を増やすことと、来てもらった方にポイントをあげれば、今度は例えば近鉄内部・八王子線を使ってもらえば、そのポイントが使えるだとか、あるいは市内で買い物をすればそういうものが使えるだとか、そういった条件整備をあわせてしていけば、来場者をふやすことと、あとのお金の使い方についても一定の効果があるんじゃないかなというふうに思えるので、一遍検討していただけないかな。

それから、従事者だけ、以前は離職餞別金を出しとったわけで、民営化を図ってナイター競輪を導入して売上げが伸びて、ところがそれにかわるものがないんで、大入袋だとかそういうのを検討して対応できるように考えてやってもらいたいなと思っているんです。格好はどんな格好でも結構なんですけど、いずれにしても努力に報いるということはしていく必要があるんじゃないかなと、これが2つ目。

それから3つ目が松阪競輪の川越場外が川越町長との話では場外開催はもう赤字になったと。それで、さあどうするかという話があったんで、松阪競輪が例えば岸和田競輪と組んで、また場外をやられると困るので、その辺りを川越町との話と、それから松阪競輪ときちんと詰めて、場合によっては松阪競輪が四日市競輪の場外車券を売ってやるような、そんなような対応も含めて交渉すべきではないかと思うよね。変なことになると困るから、川越場外は四日市市で対応できるぐらいの腹を持って交渉すると案外いい方向で解決するんじゃないのかなと、こう思っているんで。関係者のあなた方が行くのも大事なんやけど、ここのトップが直接ひざ詰めで話をするような機会をつくっていただくと、うまく行くかと違うかなという淡い期待を持っているので、是非とも努力してほしいと。

山本里香委員長

競輪事業に関するご意見が出ましたが。予算常任委員会産業生活分科会の審査は終わりましたので、商工農水部長より一言。

清水商工農水部長

小林委員さんのほうからは、本当にこれから考えていかなければならないことをご提案いただきました。ファンサービス、ポイント制度であるとか大入袋ということで従事者の苦勞に報いるということ、これも考えてまいりたいと思います。

それと、松阪競輪につきましては、年明け早々からいろいろ新聞紙上で出回ってしまし、私もいろいろ情報を取りながら小林委員がおっしゃったように何らかのアクションを取りたいということで、今検討して動いておりますので、また結果報告等がありましたら、迅速にご報告はさせていただきたいと思います。

山本里香委員長

それでは、2月21日の木曜日の日、本会議終了後にこの今の報告をさせていただき予算常任委員会全体会が開かれるということになっておりますので、お知りおきをください。

それでは、これで閉じてよろしいですね。報道機関の方が傍聴に1人入ってみえましたことを後になりましたがご報告だけさせていただきます。それでは、予算常任委員会産業生活分科会はこれで終わりとなります。ありがとうございました。

11：34 閉議